

### 「授業時数」「校時表」の見直し

授業時数については、学習指導要領の目指す資質・能力の育成のための十分な時数確保はもちろんのこと、災害・感染症等による時数不足に備えた余剰の確保も検討する必要がある、大変苦慮されているかと思えます。

令和5年8月28日付の中央教育審議会・質の高い教師の確保特別部会の提言では、「各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直し」についても述べられ、文部科学省から取組の徹底等についての通知も出されました。

今回は、授業時数や時間割についても工夫されている2校の取組を紹介します。

### キーワード:年間を通じて主体性を伸ばす仕組み

#### 勝山市立勝山中部中学校

★毎日30分のプロジェクトタイム(PT)…「主体性を伸ばす」ことに焦点化 R4の週1回から拡大 (探究、委員会活動、集会(全校・学年)行事準備・練習、補充学習)

★45分授業…授業の質的改善およびPTの一部を補充学習に活用することで実現 (なお、1学期で欠けた授業は、雨天で日程のずれた中体連の大会の影響のみ)

曜 日	月	火~金
生徒玄関開錠	7:40	~
朝 読 書	8:00	~ 8:10
マイノートタイム	8:10	~ 8:20
朝 の 会	8:20	~ 8:30
1 校 時	8:40	~ 9:25
2 校 時	9:35	~ 10:20
3 校 時	10:30	~ 11:15
4 校 時	11:25	~ 12:10
給 食	12:10	~ 12:50
昼 休 み	12:50	~ 13:15
5 校 時	13:15	~ 14:00
6 校 時	なし	14:10 ~ 14:55
P T	14:10 ~ 14:40	15:00 ~ 15:30
清 掃	なし	15:35 ~ 15:45
帰りの会	14:50 ~ 15:00	15:55 ~ 16:05
部 活 動	なし	16:10 ~ 17:40
完全下校	15:15	17:50

各教科担任の授業は、1~5校時

6校時は総合・学活・道徳  
プロジェクトタイムと連続した活用も可能

#### 教員の主体性も大切に

割り振られた校務分掌の役割のなかで、「やりたいこと」「できること」をプロジェクト化して主体的に取り組む。

例)環境美化プロジェクト

「気持ちよく生活できる学校環境づくり」

「まずは用具の整備が必要！次に清掃方法を改善！」

- ① 施設員と清掃用具入れをメンテナンス
- ② 雑巾のしぼり方・拭き方を各清掃班長へレクチャー

★目に見えてきれいになったことにより満足感UP

★声をかけてもらえて自己肯定感UP

### キーワード:GGKでミドルリーダー育成

#### 福井市 日之出小学校

- ①勤務時間帯(教職員から出てきた課題)
- ②低学年週時間数削減(市校長会で出てきた課題)
- ③GIGA計画(現場で直面している課題)
- ④行事関連時数削減(さらに進める課題)

#### 4つの課題

4人をチームに指名し、課題を割り当て。チームは教職員の考えを取りまとめることからスタート。(R3夏)現状の分析、目指すゴールや、アイデアのメリット・デメリットを検証し、次年度へ向けた提言を年度末までに実施。

1人ひとりが主体的に考える強い組織へ→全員が納得感をもってGGKを推進

- ・核として発言行動をしてくれている。
- ・よく課題に気づいて発言しているなあ。
- ・管理職志望を叶えられるよう育成しよう！
- ・校務分掌にもっと自信を持ってほしい！

#### 4人のミドルリーダー



#### ①勤務時間帯

課題:児童の登校時間が勤務開始時間より早いフレックスタイム制や登校時刻繰り下げなど検討

#### ③GIGA計画

授業でのタブレット活用、持ち帰り準備、格差解消研修を実施・各学年ごとの活用のゴールを提案

#### ④行事関連時数削減

学校の体育大会と区民体育大会を合同開催できないか？  
熱中症リスクや準備、練習の時間的負担  
協力的な地域の方に小学校の取組を見てもらうチャンス  
→体育協会との連携などの課題を検証し実現へ

最初に考えを取りまとめているので提言が受け入れられやすい  
実施に当たってはPTA・地域の理解のために丁寧な説明も重要

#### ②低学年週時間数削減

▶6校時カットの「業務改善日」:「放課後時間の生み出し」が目的だが、低学年担任は放課後時間への影響が無かった

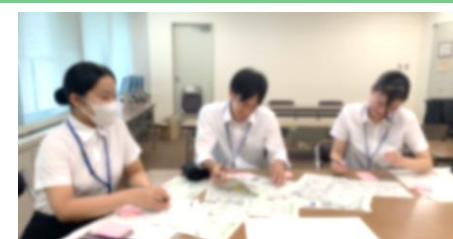
→余剰時間の多い低学年の授業時数を最初から削減し、業務推進時間を確保するねらい  
1学期の国語の削減を提言し、週1回下校時刻の繰り上げ実施へ

下校時刻	月	火	水	木	金
1年	2:15	2:40	2:15	2:40	1:50(1学期) 2:40(2学期)
2年	2:15	2:40	2:15(1学期) 3:10(2学期)	2:40	2:40

夏休みの期間を使って働き方改革の研修実施  
“Well-beingな生き方”“持続可能な働き方”  
“7時間45分内の業務遂行”

- ★文科省教員勤務実態調査速報値を活用した実態把握
- ★グループワーク 理想とする働き方、生き方は？等

#### \*編集後記\*



8月下旬に、県庁では大学生を対象としたインターンシップが実施され、教職員課では3名の行政職に興味のある学生がGGKニュースの取材同行とアイデアのディスカッションを行いました。学生の柔軟な発想で取材時に質問したり、GGKのアイデアを数多く出してもらいました。

行政の立場で「ふくいの子どもたちと先生のため」にできることを考えたことで、将来のGGKの担い手になってくれたら…と願うと同時に、担当者自身は「柔軟性を忘れてはいけない」と「ハッ」とさせられた次第です。

大人数での取材にご対応くださった日之出小の皆様、ありがとうございます！  
学生のアイデアは、今後のGGKニュースで紹介していきます♪

次号 VOL.12も  
お楽しみに！

